

マイサークル

きらくじゆく 着楽塾

194

～ふつうに、楽しく、ちょっとおしゃれに着物を着よう～

- 日時／毎月第3木曜日 10:00～15:00
※午前からの参加も可能です
- 場所／壽丸屋敷（中町）



着物が好きで着てみたいという人たちの集まりです。月に一度、着物姿で集まり、着付けの練習をしたりお出掛けしたり、ボランティアなどの活動も行っています。

結成して1年と若々しい会です。会員も元気いっぱい、好奇心いっぱいで、白石城でのお花見や竹駒神社への初詣で、市のイベントでのボランティアなど、活動の範囲も広がってきています。

着物を着てみての感想は、「案外動きやすいね。」「思ったより暖かい。」「母の着物が着られてうれしい。」「帯と着物、小物の合わせ方で雰囲気が変わり、とても楽しい。」など、着慣れるにつれて着物に対する好感度が増えています。

この活動を続けて、着物の文化を若い皆さんにも伝えたい、もっともっと着物や帯などについて知りたいと思っています。

お手持ちの着物を私たちと一緒に着てみませんか。お待ちしております。

☎佐藤 26-1475

市民文芸

応募方法
一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき1枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。
Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

永久の笑み湛へて夫は木蓮の白き花咲く門の
辺を来る 平間 久子
子等それぞれ小さき家を構へるを幸せとせむ
一人居なれど 石沢 敏子
暖冬は有り難けれど病む身には寒暖ありて体
調くずす 大野 一生
学校に教え下されし師の面影偲びつつ歌う
おぼろ月夜を 山田 濱
父母と姉の眠れる古里のそら見上げつつ参道
を行く 大庭 良子
陽だまりの地べたに座りあそぶ子ら何の話か
声を弾ませ 阿部みさ子
彼岸前まず古墓の草とれば曾孫も真似てく
わ鎌ふるう 斎藤タカ子
桜花心にしみつ友とふたり坂の並木の下く
ぐりゆく 後藤 正子
村里は梅も咲ける桃源郷青麻のふもと静か
に暮る 後藤今朝雄
暖冬に庭池の金魚元氣よく氷ははらずめづら
しき年 岡崎 澄子

俳壇

遠藤 秋尾 選

黄砂降る近くて遠き国なりき
祭くる遠く近くに稽古笛 山家 弘子
今日咲くか明日になるか桜花 岩松 隆志
風たちて舞ひし落花や城下まで 福原 峯子
鶯の初音ひと声ベタル踏む 制野 リエ
夕焼けて山里の空けむり立つ 阿部はぎの
蔵王背に白石城の桜かな 遠藤 忠臣
大庭 良子

柳壇

四電 英夫 選

盲点を突かれ思わずする本音 草野 清
デジタル化おいてけぼりの不安感 斎藤 典子
古里の山を隠して黄砂降る 大庭 良子
又一人絶筆となり友のふみ 阿部はぎの
六十年思い出ばかり千の風 高子うこん
心からお詫びで済ます美し国 石沢 敏子
安い値と見ればグラムの表示なり 水戸 光穂
春耕に年令の重ねを思ひ知り 阿部みさ子
催花雨を首を擡げて待つ蕾 寺崎 悦子
原発の安全それは保身です 高橋 要一

評 一句目、誰しも意表を突かれると、つい本音が出てしまうもの。人間の心理をうまく表現した一句。
二句目、目まぐるしく進むデジタル業界。ついて行くのは大変で、取り残されてしまうような不安感と焦りを覚える。
三句目、今年は特に黄砂の多い春だった。黄砂と花粉のダブルパンチに悩まされた方も多かったようである。

今月から選者を担当させていただくことになりました。未熟な者ですがよろしくお願いたします。多数の投句をお待ちしています。
四電 英夫

市内イベント掲示板

(6月1日～7月5日) (※一花火打ち上げ)

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
～7月 9日(月)	9:00～17:00	第49回全日本こけしコンクール入賞作品展	弥治郎こけし村	入村無料	弥治郎こけし村 ☎26-3993	20頁掲載
6月 1日(金)	18:00～(17:30開場)	アンドレ・ワッツ ピアノリサイタル	ホワイトキューブ	前売り券5,000円(全席指定、学生半額)	ホワイトキューブ ☎22-1290	
6月 3日(日)	10:00～	第16回伝統芸能フェスティバル	碧水園	入場無料	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	20頁掲載
6月 3日(日)	13:00～14:30	ふれあい能楽セミナー特別講座「明解! 能「田村」の世界」	碧水園	入場無料	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	20頁掲載
6月 9日(土)	14:00～15:30	文化財実地調査報告会(桃生地区と白石との歴史的つながり)	中央公民館 視聴覚室	入場無料	社会教育課 ☎22-1343	31頁掲載
6月10日(日)	10:00～15:00	碧水園茶会 ※24日にも開催	碧水園	お茶券400円	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	20頁掲載
6月13日(水)	8:30～	第16回市民グラウンドゴルフ大会 ※雨天時は14日に開催(14日雨天時は15日に開催)	白石川緑地公園	参加無料 ※申し込み必要	社会教育課 ☎22-1343	23頁掲載
6月16日(土)	14:00～(13時開場)	能・狂言鑑賞会「田村」 能で訪ねる都の春	碧水園	入場料全席指定 ※詳しくはお問い合わせください。	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	20頁掲載
6月16日(土)	10:00～11:30	定期リサイクル教室 「牛乳パックでふた付き六角小物入れを作ろう」	いきいきプラザ	参加無料(材料持参) ※定員10名申し込み必要	いきいきプラザ ☎22-1635	19頁掲載
6月17日(日)	8:30～	第5回市民シャトルボード大会	中央公民館	参加無料 ※申し込み必要	社会教育課 ☎22-1343	23頁掲載
6月23日(土)	8:30～12:00	いきいきプラザフリーマーケット	いきいきプラザ	入場無料 ※出店希望者連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	19頁掲載
6月23日(土)	14:00～15:00	白石歴史おはなし会 ※7月21日、8月25日にも開催	図書館2階	入場無料	図書館 ☎26-3004	19頁掲載

※そのほかのイベント情報などの詳細については、市のホームページをご覧ください。

国際コーナー

International Corner

カンボジア：水、健康、人生

皆さんは、毎日水道から出てくる、白石のきれいな水を飲むことが、どんなに幸せなことか普段考えたことがありますか？ 4月29日から10日間にわたり、「PEPY RIDE」という非政府組織(NGO)のボランティア・トリップに参加しました。PEPYは世界中の教育活動をサポートする団体です。名前の由来が「P」 rotect (守る)、「E」 arth (地球)、「P」 roject (プロジェクト)、「Y」 ourself (あなたたち自身で) からきていることから分かるように、プロジェクトのほとんどが環境と健康問題に関係しています。2000年の発足以来、PEPYはカンボジアのシエム・リエ州内にPEPY RIDE Schoolを開校し、さまざまな教育プロジェクトを実施しています。

今回参加したグループのメンバーのうち、ほかの13人は長野、静岡、岡山と兵庫のALTで、その目的は田舎の学校に3万リットルの大きな雨水収集装置(タンク)を作ることでした。政府からの補助金は、1人のカンボジア生徒に対して年間たった1.25ドルしかありません。このため、学校側も水道の修理費用など、とても払えない状態にあります。このタンクは550人の生徒たちだけではなく、村民2,000人にもきれいな水を飲むようにするためのものです。カンボジアで亡くなる人の74%は、汚染された水による病気によるものです。タンクを作った場所は、フェリーで1時間メコン川を上流へ向かった所にある村でした。カンボジア人の多くは水を沸かすとはい菌がなくなると考えていますが、この地域の水にはヒ素が含まれているため、病気で亡くなる割合が高かったようです。今回のプロジェクトには500ドルが必要でしたが、白石の皆さんやオーストラリアにいる家族・友達の協力、ALTのイベントなどで15万円(1,250ドル相当)以上のお金が集まりました。皆さん、本当にありがとうございました。残りのお金は将来のプロジェクトに役

立てられます。私たちがセメントの壁を作るなどの作業をしている間、子どもたちはずっと不思議そうに私たちを見ていました。そして作業中、時々ゲームや歌を歌ったりしながら、大きな澄んだ目をした子どもたちと交流しました。20歳の男性からは、プロポーズされました！ うれしい～～～(^_^)v 最後に、彼は私たちが作っていたタンクと学校の絵を描いてプレゼントしてくれました。

2週間の滞在中、本当にたくさんのことを学びました(その中には、焼きゴキブリはあまりおいしくないこと、女王アリは結構ポテトチップスの味に似ていることなども含まれています!)。最終日、PEPY RIDE Schoolの4年生を素晴らしいアンコールワット遺跡に連れていきました。子どもたちは近くに住んでいますが、全員が初めての体験でした。ボランティア活動が終わった後、カンボジアにあるさまざまなNGO施設も訪問しました。たくさんありすぎて、このコーナーではとても書ききれません。

でも最後にひとつ! この世の中にはいろいろと複雑な問題がありますが、恵まれていない人たちのために少しでも、何でもいい、一人ひとりができることから協力し、サポートできたらいいですね。PEPY RIDEのようなNGOに接して、これからも発展途上国へ旅行するときは、できるだけ「Give Back(お返し)」したいと思いました。

カンボジアは笑顔にあふれた美しい国です。過去にはとてもつらく、厳しい時代がありましたが、カンボジアの人々の精神がつかれることはありませんでした。涙が出るほど感動した2週間でした。またいつか、カンボジアを訪ねたいと思います。